

2013. 8月号 広報～風・菜・樹 ふなき便り

社会福祉法人 扶老会 障害福祉サービス事業グループ

新しい取り組みを始めています！

福祉事業所として地域へ貢献 ～サムラ募金弁当～

サムラでは、8月1日より山口県共同募金会が実施されている“募金百貨店プロジェクト”に参画し、「募金弁当」の発売を開始しました。「当事業所の活動を活かして、もっと地域に貢献したい」との思いから、この商品の販売を決定しました。内容としましては、サムラの弁当を1つお買い上げいただければ、売り上げのうち10円を赤い羽根共同募金に寄付するというものです。また、その寄付金は宇部市で行われている「一口後見人プロジェクト」の財源としていただくことになりました。個人宅への配達はもちろん、イベント等の特別注文もお受けしています。ご入り用の際は、ぜひサムラの募金弁当をご利用ください。よろしくお願いいたします。



▲募金弁当 510円です。
是非ご賞味下さい。



▲8月1日に行われた覚書調印式にて
左から
一口後見人プロジェクト 藤本 実行委員
社会福祉法人扶老会 土屋 理事長
山口県共同募金宇部支会 福田 支会長

■山口県共同募金会宇部支会 支会長 福田幸三 様より

この度、山口県共同募金会が実施する“募金百貨店プロジェクト”に御協力いただきありがとうございます。

「レストラン&パン工房サムラ」で働く皆様が丹精込めて作られた「サムラの町を良くするお弁当」2種類の新作を、一人でも多くの市民の皆様が購入していただくことで、就労意欲の向上と地域に愛され繁栄するお店に発展するよう、本会と致しましても期待しております。

また、その売上金の一部を、赤い羽根共同募金「一口後見人プロジェクト」に御寄付いただき、認知症や知的障害、精神障害などで物事を判断する能力が不十分な方々の権利を守るための財源として、宇部の福祉推進のために活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

『障害者優先調達推進法』と『共同受注』で更に作業充実

「ハイツふなき」の就労継続支援B型事業では、地域住民の皆様や企業、官公庁からの依頼による草刈り、剪定、除草、軽作業など地域に根差した作業メニューを中心に、利用者の皆様に“働く場”を提供しています。

おかげさまで、長年の活動の実績による信頼も得て、これまでも順調に作業を実施することが出来ておりましたが、近年の『共同受注』システムの導入や、今年度からの『障害者優先調達推進法』の施行により、更なる作業の充実が図られています。

まず『共同受注』についてですが、私どもの地域においては、数年前から「宇部市障害者就労支援ネットワーク会議」が全体的な利用者の工賃アップを目指し、県内で初めて共同受注システムを導入しました。コーディネートを行う窓口を通じて市内の就労支援を行う事業所に仕事の斡旋が行われ、発注側のニーズと施設側の特性をより有効的にマッチングすることが可能になりました。



▲地域活動（草刈り）の様子



▲軽作業の様子

そして、平成25年4月から『障害者優先調達推進法』が施行され、“国や地方公共団体等は、物品等の調達にあたり優先的に障害者就労施設等から物品等を調達するよう努めること”、とされました。このことにより、いわゆる“官公需”の受注機会が更に広がり、私ども「ハイツふなき」においても官公庁からの作業依頼が増え、今年度の作業収入、工賃共に対前年比で約3割増の実績をあげることができています（7月末現在）。

ここでも、また『共同受注』の機能が発揮されており、特に全県レベルでの受発注については今年4月から稼働する「山口県社会就労事業振興センター」が主体となり、県下の就労支援事業所との連携のもと、マッチング・コーディネートが効果的に行われています。

この制度をステップにして、地域との信頼関係を更に深め、事業所としての存在価値を高めるチャンスとして捉え、利用者の皆様の更なる処遇向上を目指します。

■「特定非営利活動法人 山口県社会就労事業振興センター」のご紹介

山口県社会就労事業振興センター 金子亜由美 様

山口県社会就労事業振興センターでは、障がいのある方が、住み慣れた地域で働き、自立した生活ができるように、障がい者福祉の増進を目的として活動しております。『障害者優先調達推進法』の施行を踏まえ、受発注のマッチングや営業活動を行い、共同受発注窓口としての機能強化、その他様々な活動を通じて、会員事業所の工賃向上を支援しています。

【共同受発注の推進】

- ・障害福祉サービス事業所の製品及び共同開発製品の販路拡大、斡旋、普及を行います。
- ・官公庁、民間企業からの受注に関する相談、調整を行います。

【製作品の普及・啓発活動】

- ・製品の情報収集、データ管理、ホームページ活用等による情報提供を行います。
- ・官公庁・民間企業・福祉団体等へ就労事業所製品を広く宣伝します。
- ・官公需・民需の受注を斡旋します。
- ・バザー、イベントへの出店等を企画します。

【共同事業】

- ・クッキー、サブレ、レトルトカレー等の地域ブランド製品を開発し、スーパー、デパート等との取引を可能にします。
- ・印刷、陶芸、簡易作業等の障害福祉サービス事業所の製品、役務作業等の斡旋・調整を行います。

楠園盆踊り

8月3日に同法人の楠園で開催された盆踊り。多くの地域住民の方々にお越し頂きましたが、ハイツふなき・ヴィラふなきの利用者さんも参加しました！

出店を巡ったり、輪に入って踊ったり、とても楽しまれていました。よさこいや無料くじといったイベントがあり、夏の暑い夜を風流に過ごしました。



▲参加者で賑わう出店の様子。

やきそばや焼き鳥、たこ焼きやかき氷など、利用者さんがそれぞれ好きなものを食べられ、とても美味しかったと好評でした。

また、イベントの応援としてハイツグループ職員も参加し、出店での販売を通して、お祭りの雰囲気と一緒に作りました。



▲楠園中庭に設営された櫓を囲んで踊る参加者。

ハイツふなき施設外活動



▲利用者の皆さんが駅で切符を購入する様子（左）と、電車に乗り込む様子（右）

また、下関シーモールには沢山の専門店があり、参加者の皆さんは思い思いの買い物をされていました。

「また行きたい」、「電車やバスに乗れて良かった」という感想も聞くことができました。

ハイツふなき生活訓練の一環として、公共交通機関を使っての下関シーモールへの外出を行ないました。

利用者の方は自分で切符を買い、電車やバスに乗る事で、事業所内での活動だけではなかなか出来ない社会参加の体験が出来ました。



▲公共交通機関（バス）を利用しています。

スタッフちゃんねる

こんにちは、ヴィラふなき世話人の衣畑です。

猛暑と騒がれた夏も過ぎようとしていますが、みなさん元気にお過ごしですか？ 夏バテして体がだる～いと言われる方の為に、体力回復につながる食べ物をご紹介します。

みかんやグレープフルーツなどの柑橘類からクエン酸を、タマゴ・豆腐・肉・レバー・うなぎ・枝豆・かぼちゃ等からタンパク質や、ビタミン、ミネラルをバランス良く摂取すると良いそうです。食欲がない時は冷やしたトマトがおすすめです。

そして体をしっかり休め、食欲の秋・スポーツの秋に備えましょう。私も健康維持を目的に、体幹を鍛えようと思っています。



シリーズ【職員勉強会】 ～地域移行・地域定着支援～

7月は美祢市の「総合相談支援センターみね」の相談支援専門員であり、また相談支援の圏域アドバイザーでもある藤井真寿美様を外部講師としてお招きし、計画相談や今後の地域移行・地域定着という視点から話して頂きました。

昨年の4月より福祉サービス事業所等を利用される利用者には計画相談についての情報提供をさせて頂いているところですが、今回の勉強会では計画相談と共に病院からの地域移行・地域定着支援についても様々な観点からお話をして頂き、普段相談支援事業所と連携している職員だけでなく、利用者支援を主としている現場職員にとっても、より理解を深めることが出来ました。



▲藤井講師の話に真剣に耳を傾ける職員一同。

支援において中心となる「利用者の想い」をより聞き出す事で、支援の方向性を明確とし、利用者がより充実した生活が送れるように今後も支援してまいります。

佐伯所長の

今月のエソラゴト!

私がこの原稿を書いている8月上旬現在、毎日猛暑が続いています。広報紙が皆様のお手元に届く8月下旬も恐らく厳しい残暑が続いていることでしょう。上がり続ける気温、増加する熱中症による搬送者、局地的な大雨による被害等、我が国における猛暑とその影響はここ数年で常態化しており、日本が熱帯化しているとの感も否めません。山口県においても7月下旬に豪雨による甚大な被害を受けました。被災された地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

本来、夏は楽しい季節であるべき。夏を純粋に楽しめなくなることは、子供にとっても大人にとっても、喜ばしくない事態です。皆様にとっても、夏の思い出はたくさんあると思います。私にも色々な思い出がありますが、一番印象に残っているのが「合宿」です。今年の夏は、山口県でスカウトジャンボリーが開催され、またTPP交渉に向けて担当の官僚が合宿を行うというニュースもあり、過去の記憶が懐かしくよみがえってきました。部活やサークルの合宿、ゼミ合宿、新入社員合宿等、数々の合宿を経験しました。いずれも、ただ遊びに行くだけではなく、練習や勉強、教育等で先輩方から有り難いご指導（笑）をいただくなど、辛く苦しいことも多くありましたが、先輩や後輩を含めた仲間たちと寝食を共にした濃密な時間を過ごし、絆を深められたことは、何よりの思い出、そして財産として今でも心の中に残っています。

現代社会においては、「一つ屋根の下」で「同じ釜の飯を食う」ということが希少な体験となってきています。人間関係の深化において、同じ時間、同じ体験を共有することが有効的なのは言うまでもありません。そして、夏という短く、凝縮された季節が、その体験をより濃厚な記憶として残していくのだと思います。

「合宿」という機会はなかなか無いとしても、周りの人たちと夏に色々な経験を共にすることはあると思います。厳しい夏の季節を楽しいものとして残していく為にも、体調と気象の変化には十分に気をつけた上で、これからも仲間たちとアクティブに活動していきたいですね。

(佐伯)

CHECK!



〒757-0216 山口県宇部市大字船木833

社会福祉法人扶老会 障害福祉サービス事業グループ

- ・ハイツふなき
- ・ヴィラふなき
- ・生活支援センターふなき
- ・サムラ

- (0836) 67-0188 自立訓練・宿泊型自立訓練・就労継続支援B型
- (0836) 67-1883 グループホーム・ケアホーム
- (0836) 67-2464 相談支援事業・日中一時支援
- (0836) 67-0171 就労移行支援事業・就労継続支援B型

ホームページ <http://www.furoukai.jp/>

ブログ <http://www.furoukai.jp/cms/heightsfunaki/>